

## 平成19年度予算の概要

### 平成19年度の状況

平成19年度は、二松学舎創立130周年を迎える。記念事業として式典、祝賀会、講演会、各種シンポジウム等、各種記念出版物の発行、書道展、公開学術講座、ブランドイメージの募集などを計画しているが、大きな柱となるのは大学の九段集約計画であり、そのための校地の取得と「130周年記念校舎」の建設を開始する計画である。

また、18年度に受けた第三者評価および格付の結果を公表・活用し、自己点検・調査を実施し各種改善策を図ると共に、本学の知名度(ブランド力)の向上、入学者の増大に結び付ける。教育研究の推進、教育の見直し、学生募集・広報体制の見直し、就職・キャリア教育の充実など学生の入口出口対策、キャンパス整備、人事計画と組織の効率化、財政改革等、21世紀二松学舎像の策定を目指すマスタープランに従って段階的に実施する。

キャンパス整備については、大学柏校舎のバリアフリー化およびクラブ棟の耐震・改修工事、九段校舎図書館施設の各種改善、沼南高校西校舎の防音工事、附属高校の改修・アメニティの向上等、教育・研究環境整備と防災機能の強化を行う。

キャンパス整備計画の具体化を踏まえ、135周年を目指した募金活動を開始し、収入の一助とするとともに安全性に配慮した資産運用を積極化させ収益向上を図っていく方針である。また、財務改革の大きな方策の一環として本学出資により立ち上げた事業会社(二松学舎サービス)の事業を軌道に乗せ、学生、教職員へのサービス向上に資する新規事業を開拓し、収益事業の一環として対応していく。

かかる状況下、財務運営についてはこれらの支出の財源を確保するため、経費の見直しを行うとともに、安全性を考慮した資産運用等により収支改善を図ることを平成19年度の予算編成方針とした。

### 平成19年度の収支状況

#### 1. 消費収支予算書について(別表5)

##### (1) 消費収入の部について

- ① 収入の柱である学生生徒等納付金は、大学、沼南高校で在籍者数の減少により前年度実績と比べて、1億100万円減少し、36億7,400万円となる見込みである。
- ② 寄付金は、創立130周年記念事業、5年後の135周年記念事業に伴う募金活動を計画・開始すること等により、8,200万円を見込んでいる。
- ③ 補助金は、私立大学等経常費補助金および東京都(附属高校)、千葉県(沼南高校)の補助金が減少となる見込みである。当年度は沼南高校西校舎の防音工事に係る補助金を3,600万円程度見込んでおり、7億2,200万円を計上している。
- ④ 資産運用等収入は、資産の効率的運用を行い、3億5,000万円を見込んでいる。
- ⑤ 基本金組入額は、大学・附属高校・沼南高校整備資金として8億円の第2号基本金の組入

れを行い、大学九段集約のための校地の取得ほか固定資産の取得額である第1号基本金組入見込額と合わせて20億9,000万円を計上している。

## (2) 消費支出の部について

- ① 人件費は、28億4,700万円と、前年度に比べ2,900万円の増加を見込んでいる。
- ② 教育研究経費は、施設・設備の改善費用、情報システム関連経費のほか、創立130周年記念事業費(主に出版刊行物、展示会費用等)を織り込み、13億7,100万円を計上している。
- ③ 管理経費は、教育研究経費と同様に施設・設備の維持管理費と事務システム関連経費のほか、創立130周年記念事業費(主に広報費)を織り込み、前年度に比べ8,500万円増加し、4億5,200万円を見込んでいる。

これらの結果、帰属収入は50億円、基本金20億900万円組入後の消費収入は29億1,000万円、消費支出は47億5,200万円となり、18億4,200万円の消費支出超過の見込みである。

## 2. 資金収支予算書について(別表6)

収入の部は、学生生徒等納付金収入、補助金収入の減少等により、前年度に比べて減少の見込みである。また、支出の部は、資産運用支出の減少等により、前年度に比べて減少の見込みであり、収入・支出とも前年度に比べて減少を見込んでいる。次年度繰越支払資金(現金・預金)は6億200百万円となり、前年度比22億4,100万円の減少となる見込みである。

別表5 消費収支予算書

(単位:百万円)

科 目	平成19年度 予 算	平成18年度 実 績	増 減
<b>消費収入の部</b>			
学生生徒等納付金	3,674	3,775	△ 101
手数料	90	99	△ 9
寄付金	82	34	47
補助金	722	868	△ 146
資産運用収入	300	270	30
資産売却差額	50	43	7
事業収入	7	1	6
雑収入	75	130	△ 55
帰属収入合計	5,000	5,220	△ 220
基本金組入額合計	△ 2,090	△ 1,009	△ 1,081
消費収入の部合計	2,910	4,210	△ 1,300
<b>消費支出の部</b>			
人件費	2,847	2,818	29
教育研究経費	1,371	1,377	△ 6
管理経費	452	367	85
借入金等利息	50	32	18
資産処分差額	1	19	△ 18
徴収不能額	2	3	△ 1
予備費	30	-	-
消費支出の部合計	4,752	4,616	136
当年度消費収入超過額	△ 1,842	△ 406	△ 1,436
前年度繰越消費収入超過額	3,594	4,000	△ 406
翌年度繰越消費収入超過額	1,752	3,594	△ 1,842

注) 別表の金額は百万円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合がある。

別表6 資金収支予算書

(単位:百万円)

科 目	平成19年度 予 算	平成18年度 実 績	増 減
<b>収入の部</b>			
学生生徒等納付金収入	3,674	3,775	△ 101
手数料収入	90	99	△ 9
寄付金収入	78	26	53
補助金収入	722	868	△ 146
資産運用収入	300	270	30
資産売却収入	2,082	2,283	△ 202
事業収入	7	1	6
雑収入	75	130	△ 55
借入金等収入	1	1,201	△ 1,200
前受金収入	977	951	26
その他の収入	145	280	△ 135
資金収入調整勘定	△ 1,031	△ 1,145	115
当年度資金収入合計	7,120	8,738	△ 1,618
前年度繰越支払資金	2,843	3,518	△ 676
収入の部合計	9,963	12,257	△ 2,294
<b>支出の部</b>			
人件費支出	2,855	2,804	51
教育研究経費支出	1,017	1,033	△ 17
管理経費支出	420	335	85
借入金等利息支出	50	32	18
借入金等返済支出	101	101	0
施設関係支出	2,367	392	1,975
設備関係支出	69	103	△ 34
資産運用支出	2,455	4,582	△ 2,127
その他の支出	114	156	△ 42
予備費支出	30	-	-
資金支出調整勘定	△ 116	△ 123	7
当年度資金支出合計	9,361	9,414	△ 53
次年度繰越支払資金	602	2,843	△ 2,241
支出の部合計	9,963	12,257	△ 2,294